

日程表 1日目<10月21日(土)>

	第1会場 メインルームABCD	第2会場 セミナールームAB	展示会場 セミナールームCD
9:00	8:50~9:00 開会式		
	9:00~10:40 日本産婦人科医会 勤務医委員会企画シンポジウム 「若手医師が望むこと」 座長：木戸 道子 川幡 市郎 「分娩取扱い病院における就労環境の変遷～医会の年次アンケート調査から」 演者：関口 敦子 「女性医師のさらなる活躍のために、今できること」 演者：木戸 道子 「全国若手医師が望むこと～勤務医懇話会の総括」 演者：水主川 純 「日本産科婦人科学会産婦人科未来委員会若手委員の取り組み」 演者：中川 慧		9:00~17:00
10:00			
11:00	10:40~11:10 「子供と家族の明るい未来形成のためのアプローチ—子供の脳の発育と母子関係—」 座長：落合 和彦 演者：木下 勝之 11:10~12:00 特別講演 「日本を救う産婦人科医会の役割」 座長：古川 雄一 演者：野田 聖子	会長講演	
12:00	12:00~13:00 教育講演 1 「臍帯血の神秘」 座長：青木 雅弘 演者：高梨美乃子 共催：株式会社ステムセル研究所		
13:00	13:00~14:00 日本専門医機構 専門研修プログラム 「HPVを標的とした子宮頸癌の予防と治療～新しい流れと将来展望」 座長：平田 善康 演者：川名 敬 共催：森下仁丹株式会社（産婦人科領域）P	13:00~17:00	企業展示
14:00	14:00~15:00 日本専門医機構 専門研修プログラム 「先天異常と生命倫理」 座長：中野眞佐男 演者：倉澤健太郎 共催：シースター株式会社（医療倫理）P		
15:00		地域代表全国会議	
16:00			15:15~16:15 おぎやー献金 チャリティイベント 立川 らく朝 健康漫談
17:00			
18:00	18:00~21:00 総懇親会 会場：ホテルニューオータニ ザ・メイン 宴会場階「鶴の間」		

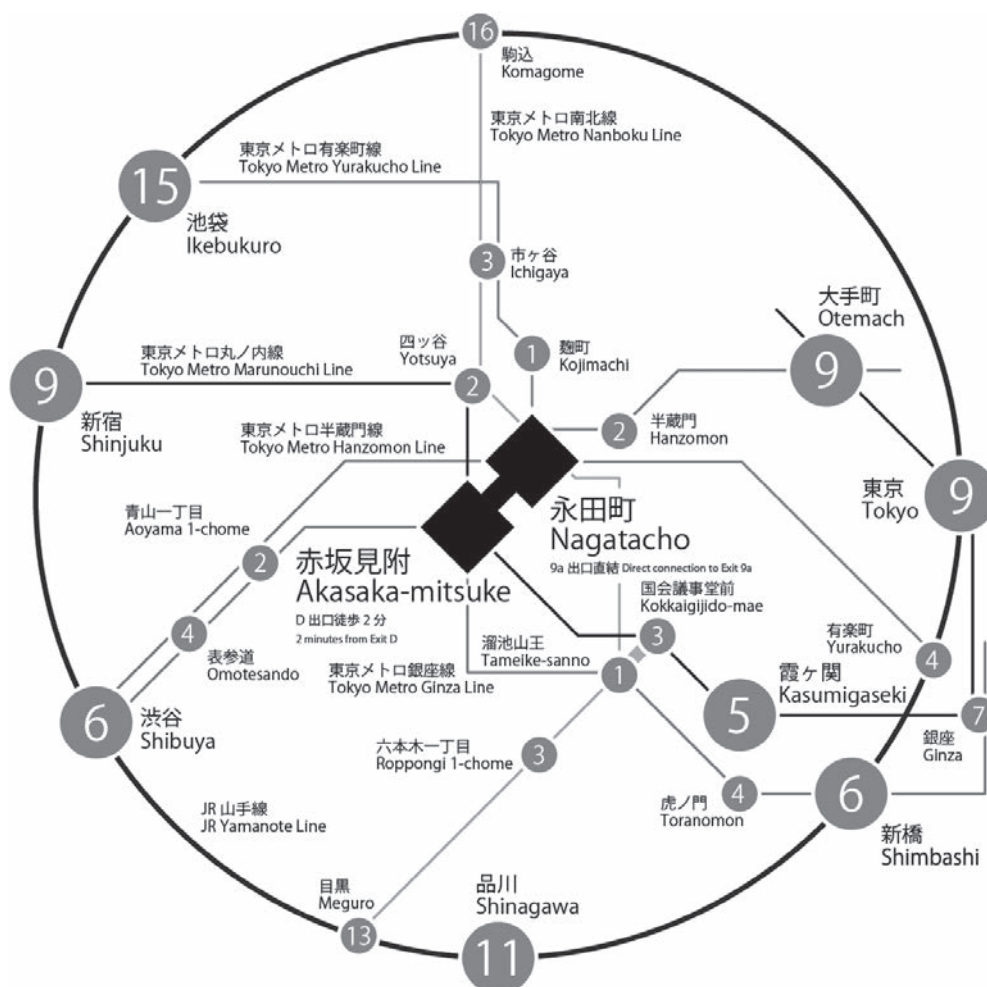
P 日本専門医機構 専門研修プログラム

日程表 2日目<10月22日(日)>

	第1会場 メインルームABCD	第2会場 セミナールームAB	展示会場 セミナールームCD
8:00	8:00～8:50 モーニングセミナー 「子宮腺筋症にまつわる最新の知見」 座長：安達 知子 演者：平田 哲也 共催：持田製薬株式会社		8:00～15:00
9:00	9:00～10:00 教育講演 2 「地域保健・医療の立場からみた産後ケア・子育て支援センターのあり方について」 座長：水谷 敏郎 演者：林 謙治 (産婦人科領域) P	8:45～11:00 平成 29 年度コ・メディカル生涯研修会	
10:00	10:00～11:00 特別講演 「世界の中の日本」 座長：中林 正雄 演者：櫻井よしこ		
11:00	11:00～12:00 招聘講演 「ACOG Activities and Social Medicine: Expanding the Role of the OB/Gyn」 座長：木下 勝之 演者：Mark S. DeFrancesco (産婦人科領域) P		企業展示
12:00	12:00～13:00 教育講演 3 「3D/4D 超音波の使い方のコツと一般産婦人科臨床での活用」 座長：木村 薫 演者：馬場 一憲 共催：GE ヘルスケア・ジャパン株式会社	12:00～13:00 教育講演 4 「知っておきたい LEP 最新事情～現代女性は月経が多すぎる?!～」 座長：北井 啓勝 演者：種部 恭子 共催：バイエル薬品株式会社	
13:00	13:00～15:00 ワークショップ 「近未来の産婦人科医療を展望する」 座長：長島 勇 海野 信也 【基調講演】「地域産婦人科医療提供体制確保のために」 演者：海野 信也 「周産期医療連携の新しい形」 演者：窪谷 潔 「近未来の産婦人科医療を展望する 生殖医療―激動の予感」 演者：森本 義晴 「産婦人科医の新たなミッション～女性の活躍を支える～」 演者：種部 恭子 「どこまで可能か?クリニックの日帰り内視鏡下手術」 演者：栗林 靖	13:00～14:00 日本専門医機構 専門研修プログラム 「脳性麻痺発症児の CTG からみた医療安全」 座長：森澤 孝行 演者：吉田 幸洋 (医療安全) P	
14:00		14:00～15:00 日本専門医機構 専門研修プログラム 「産婦人科と保険診療」 座長：田中 光臣 演者：宮崎亮一郎 (医療法制) P	
15:00	15:00～15:10 おぎゃー献金贈呈式 15:10～15:20 大会旗引継ぎ・閉会式		

P 日本専門医機構 専門研修プログラム
H 同時通訳あり

会場へのアクセス



〈電車をご利用〉

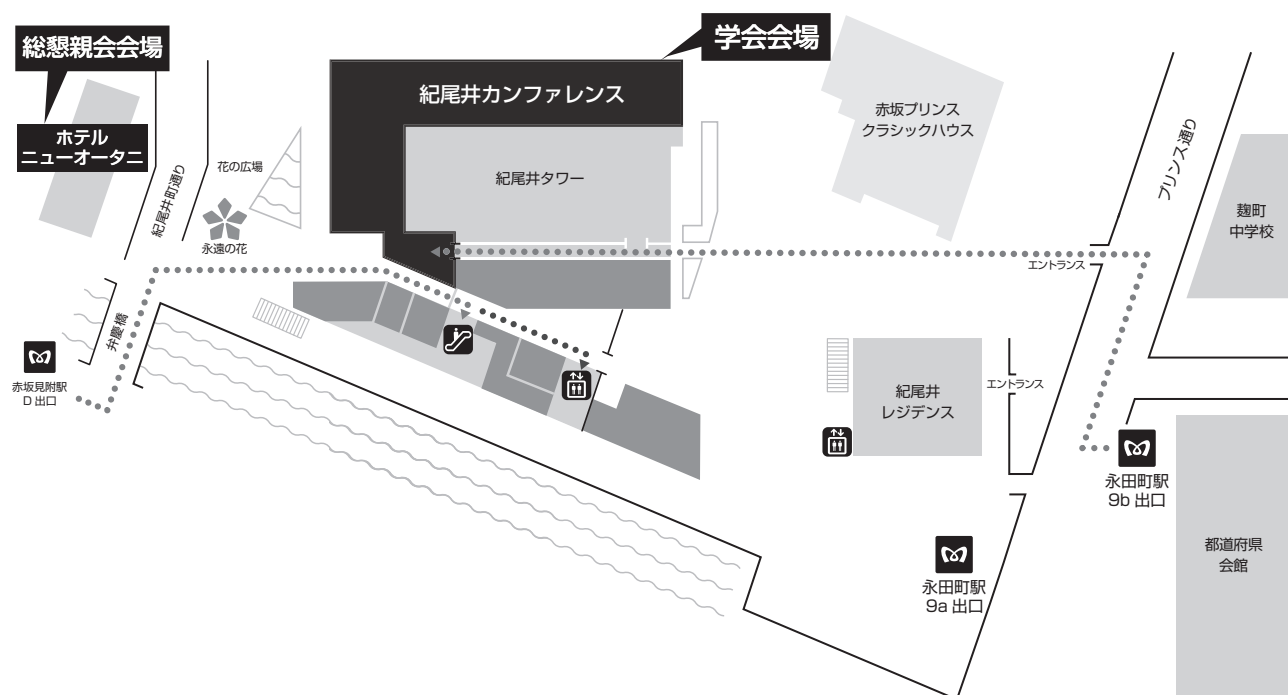
- 東京メトロ 5 路線利用可能（有楽町線、半蔵門線、南北線、銀座線、丸ノ内線）
地下鉄銀座線、丸ノ内線赤坂見附駅（赤坂地下歩道D紀尾井町方面口）から徒歩1分。
南北線永田町駅（9-a 口）直結。
半蔵門線永田町駅（7 番目）から徒歩2分。
有楽町線永田町駅（9-b 口）から徒歩1分。
麹町駅（麹町口）から徒歩5分。

〈バスをご利用〉

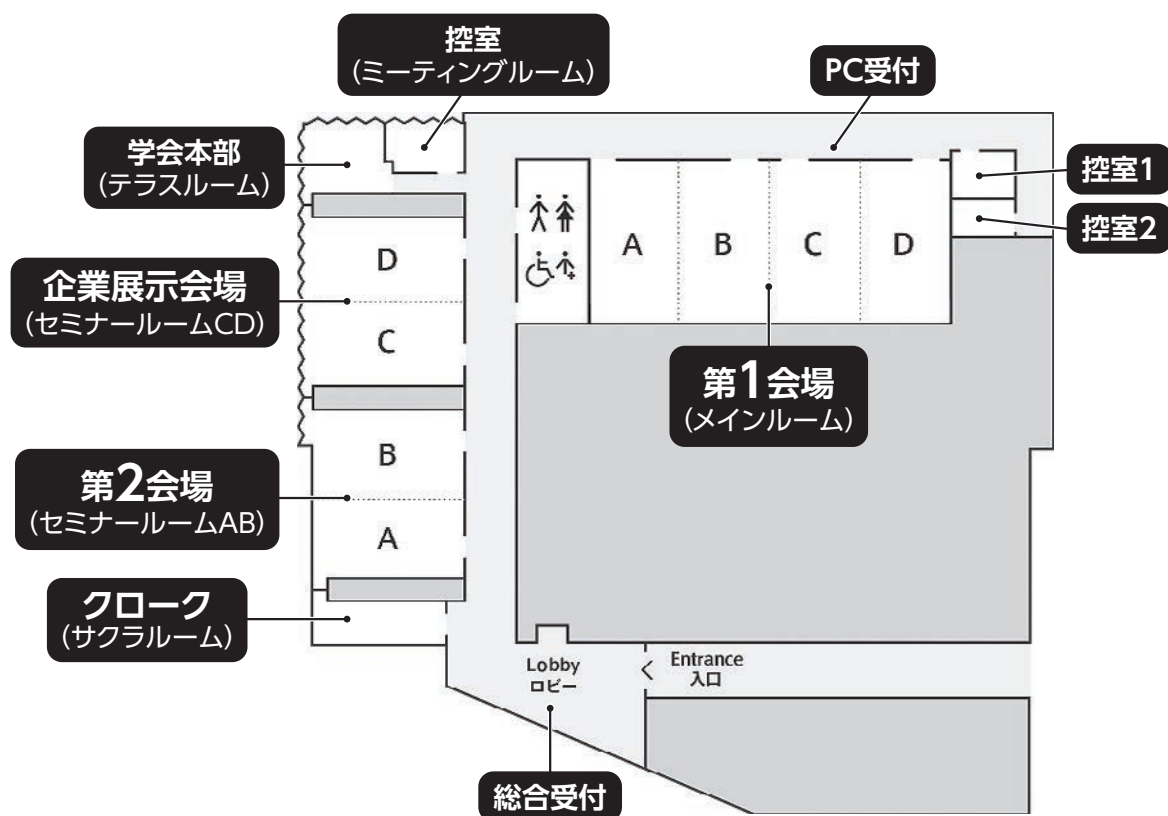
東京ガーデンテラス～成田および羽田空港間リムジンバス運行

会場周辺図・会場案内図

■東京ガーデンテラス紀尾井町 4 階 紀尾井カンファレンス



■ 4 階



第44回日本産婦人科医会学術集会 会長挨拶



産婦人科新時代 ―近未来の産婦人科医療を展望する―

第44回日本産婦人科医会学術集会
会長 落合 和彦

平成29年10月21日（土）・22日（日）両日にわたって紀尾井町カンファレンスにおいて第44回日本産婦人科医会学術集会を開催することになりました。この大会（以前は日母大会と称していた）を東京産婦人科医会が主管として開催するのは昭和52年第6回大会を渡辺行正会長が開催して以来40年ぶりのこととなります。東京らしい記憶に残る大会にしたいと現在、鋭意準備を進めております。今回の学術集会のテーマを「産婦人科新時代 ―近未来の産婦人科医療を展望する―」としたのは、新たな産婦人科医療を俯瞰できるような機会にしたいと考えたからであります。従来から産婦人科医療は「きつい」「きびしい」「きたない」といった所謂3Kの診療科とされてきました。訴訟問題も多く抱えることもあって産婦人科志望者は残念ながら頭打ちであります。しかし、一方で産婦人科医療には多くの夢があることもまた事実であり、実地臨床の中でこれらの「夢」を具現化されている先生方も少なからず見受けられます。そこで、これらの夢を希望に繋げ、さらにそれを現実のものとして示し、若い医師達が夢をもって、自信をもって今後の産婦人科医療に邁進できるような「形」を提示できればと考えております。特別講演、招聘講演もそれに沿って演者を選定したつもりでおります。とくに米国産婦人科学会（ACOG）の前会長である Mark S. DeFrancesco 先生からは、産婦人科医療団体としての ACOG が行う生涯教育、社会活動についてご講演いただこうと考えております。日本産婦人科医会の今後の方向性について、大きな示唆を与えていただけないかと思っております。また、「近未来の産婦人科医療を展望する」と題したワークショップを企画し産婦人科それぞれの領域における新たな挑戦と可能性について言及いただこうと思っています。そのほか衆議院議員・野田聖子先生、国立保健医療科学院・林謙治先生、ジャーナリスト櫻井よしこ氏にはそれぞれの立場から我が国の医療とりわけ産婦人科医療の将来像についてご講演いただけるものと思っています。

関東ブロック産婦人科医会 3,500 名の会員が、それぞれホストとして皆様をお迎えしたいと存じます。全国からの多数ご参加をいただきますことを期待しております。



ご挨拶

公益社団法人日本産婦人科医会
会長 木下 勝之

平成 29 年度の第 44 回日本産婦人科医会学術集会は、関東ブロックの東京産婦人科医会落合和彦会長が学術集会長として、東京赤坂に新築された東京ガーデンテラス紀尾井町紀尾井カンファレンスで 10 月 21 日（土）・22 日（日）に、開催されることとなりました。学術集会プログラムの作成をはじめ、様々な企画の実現に向けてご協力いただいた関東ブロック各県の皆様はもとより、落合和彦会長を中心とした東京産婦人科医会会員の皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。

実は、学術集会開催の日である 10 月 22 日（日）は、図らずも国の大事な方向性を決める衆議院議員選挙の投票日と同じ日になってしまいました。安倍首相は「国難を突破するため国民の信を問う」との理由で、9 月 28 日に衆議院を解散しました。そして、解散後の臨時閣議で「10 月 10 日公示、22 日投票」と決めたのです。今後も安倍首相の自民党と公明党の政権でよしとするか、「希望の党」代表 小池百合子東京都知事に日本を任せるのか、極めて重要な政権選択の選挙になることは間違いありません。

学術集会当日の会場の外は、アベノミクスでデフレ脱却を目指してきた安倍政権を信任するかどうかを決める選挙投票日であるだけに、何か落ち着かない、気もそぞろな雰囲気であると想像されます。1868 年（慶應 4 年）5 月 15 日、三田の慶應義塾では、福沢諭吉が経済の講義をしていました。その日、幕府の彰義隊が官軍に抗して上野に砲火を浴びせ、大砲の音に町民は我先に逃げまどったのです。塾の学生も騒ぎ、講義どころではなくなったのですが、福沢諭吉は騒ぐ塾生を諭し「ここには、弾丸は飛んでこない、心配するな」と、そのまま講義を続けたという有名な話が伝わっています。

平成 29 年 10 月 22 日の我が国は幸いに紛争や戦いではないのですが、会場外の巷では国民の動き、議員、政党等の動向を逐一伝える報道番組とスマホ画面で慌ただしい、騒々しい一日になると思います。しかし、私ども医会会員は学術集会の魅力あるプログラムに従って、講演、ワークショップを落ち着いて真剣に拝聴したいと思います。

特に落合会長の特別企画の一つは、米国の産婦人科学会前会長であった Dr. Mark Stephen DeFranco をお招きし、ACOG の社会医学的活動に関してお話いただくことです。また、国内からは国立保健医療科学院名誉院長 林謙治先生より、現在我々が目指している「母と子の心のケア」に関する課題をご教示いただきます。次いで、産婦人科領域の課題で積極的に発言しておられる総務大臣 野田聖子氏をお招きしました。そして、日ごろ中国に対する国の姿勢に関しても明解な姿勢を示しておられる著名なジャーナリスト 櫻井よしこ氏からも、直接お話を伺うことを楽しみにしていただきたいと思います。

このように、東京産婦人科医会ならではの構想をプログラムに反映していただきました。このご努力に対し、改めて落合和彦会長はじめ会員みなさまに心より御礼申し上げます。



第44回日本産婦人科医会学術集会開催をお祝いして

公益社団法人日本産科婦人科学会
理事長 藤井 知行

第44回日本産婦人科医会学術集会開催をお祝い申し上げます。

我が国の産婦人科医療は、世界最高レベルを維持しており、女性は、安心してお産をし、がんの治療を受け、最先端の生殖医療を享受し、健康維持の支援を受けることができます。どの国よりも、女性にとって、健康で暮らせる国であることは間違いありません。この医療水準を維持するために、産婦人科医師は、毎日、一生懸命働いています。私たちは、このことに誇りをもっていかなければなりません。

一方、産婦人科医療をめぐる多くの問題も浮上しています。特に、お産を担当する産婦人科医師の減少と、医師の地域間配置不均衡は、深刻です。過重労働が原因でうつを発症し、自ら命を絶った若い医師の報道は、大きな衝撃をもって受け止められました。現場で働いている産婦人科医師、また、これから産婦人科を志そうとしている初期研修医や学生が産婦人科に不安を覚え、ようやく新人医師数の回復が見られてきたのに、また減少してしまう恐れがあります。そこで、我が国の産婦人科医療をけん引する2つの団体、日本産科婦人科学会と日本産婦人科医会が共同で、このようなことが2度と起こらないよう勤務環境の改善に努めていくこと、またそのためには、研修施設の開設者だけでなく、国民の理解も必要であることを、緊急声明として公表いたしました。この声明は、メディアに大きく取り上げられました。こうした迅速な対応が取れたのは、両会が、日頃、緊密な関係を築いてきたからだと思います。

日本産科婦人科学会と日本産婦人科医会は、車の両輪として、わが国の産婦人科医療を支えてきました。両会は、今後も協力していかなければなりません、一輪になってはいけないと思っています。時には見解が異なることがあるのは当然で、そのたびに議論して解決していくことが、よい道筋を見つけるために必要です。産婦人科をめぐる問題は、前述の問題の他にもたくさんあります。HPVワクチンは勧奨再開の道筋が未だ見えてこず、世界の標準から大きく取り残される事態になっています。先進国の中で、我が国だけが、予防できたはずの子宮頸がん、将来も女性が不幸になる国になることは避けなければなりません。NIPTは、女性の標準医療として、すべての妊娠女性に行うべきだとする国がある一方、生命倫理の観点から、厳しい規制を求める声もあります。指針を無視して検査を行っている施設に、妊娠女性が殺到しているという話もあります。どのような指針が我が国に適しているのか、改めて考えなければなりません。お産をめぐる医療安全の問題も浮上し、研究班が立ち上がりました。こうした問題は、産婦人科だけでは解決が難しい問題であり、行政や他領域への働きかけを含め、両会は今後も協力して対応していく必要があります。

日本産科婦人科学会と日本産婦人科医会は、それぞれ得意とする分野があります。それぞれの特徴を生かし、わが国の女性と生まれてくる子供たちのために一緒に働いていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

参加者の皆様へ

1. 参加受付

1) 受付場所と時間

参加受付は、東京ガーデンテラス紀尾井町 4 階 紀尾井カンファレンス ロビーで行います。
受付時間は下記のとおりです。

10 月 21 日（土）8：00～17：30

10 月 22 日（日）7：30～15：00

2) 参加費：12,000 円 *当日受付にてお支払いください

※ご家族・初期研修医・専攻医・看護師・助産師・学生は無料

3) 総懇親会

日 時：10 月 21 日（土）

場 所：ホテルニューオータニ ザ・メイン宴会場階「鶴の間」18：00～21：00

*事前申込のみ、当日受付はできません。

*17：00 以降に総懇親会受付（事前申込済）を行う方は、直接ホテルニューオータニ ザ・メイン「鶴の間」前にお越しください。

2. 企業展示

展示会場にて、各メーカーによる最新機器、器材等の企業展示を行います。

3. クローク

クロークは紀尾井カンファレンス ロビーにご用意いたします。

なお、貴重品はお預かりできませんので、各自で管理をお願いいたします。

4. 写真撮影について

1) 発表者の許可なくビデオ撮影（録画）、録音はできません。

2) 雑誌や広報などを目的とした取材に関しては、事前に運営事務局の承認を得たものに限り許可されます。詳しくは運営事務局までお問合せください。

5. 呼び出しについて

1) 会期中の学会運営に関係のない呼び出しはできませんので、予めご了承ください。

2) 呼び出しは総合案内付近にメッセージボードを設置いたしますので、ご利用、ご参照ください。
呼び出しのお申し込みは総合案内にて承ります。

なお、勤務先などからの緊急呼び出しには携帯電話などをご使用ください。

6. 携帯電話について

会場内では必ずマナーモードにしてください。またその他の電子機器（PC、タブレット端末など）についても、会場内では音声オフ、ディスプレイの明るさを落としてご使用ください。

7. 専門医等の出席証明について

1) 日本産婦人科医会研修参加証

研修参加証シールにつきましては、従来どおりのシールでの発行となります。（日ごと 1 枚配布）

2) 日本産科婦人科学会

日本産科婦人科学会専門医 研修出席証明：10 単位

「e 医学会カード（UMIN カード）」を利用いたします。会員の皆様は「e 医学会カード（UMIN

カード)」をご持参のうえ、受付にてお申し出ください。

※e 医学会カード未受取・紛失等でお持ちでない方

運転免許証等でご本人確認の上、登録確認を行います。

3) 日本専門医機構単位付与講習

本学術集会では日本専門医機構専門医単位発行の講演は下記の講演で申請を行っております。

今回の学術集会で開催される共通講習などの機構専門医の認定講習の単位受付はe 医学会カードで行います。ご出席の先生は各講習会場でe 医学会カードをご提示ください。e 医学会カードのバーコードを読み取ることで単位受付を行います。

10/21 (土)		
日本専門医機構 専門研修プログラム 「HPV を標的とした子宮頸癌の予防と治療～新しい流れと将来展望」	13:00～14:00	産婦人科領域講習
日本専門医機構 専門研修プログラム 「先天異常と生命倫理」	14:00～15:00	専門医共通講習 (医療倫理)

10/22 (日)		
教育講演 2 「地域保健・医療の立場からみた産後ケア・子育て支援センターのあり方について」	9:00～10:00	産婦人科領域講習
招聘講演 「ACOG Activities and Social Medicine: Expanding the Role of the OB/Gyn」	11:00～12:00	産婦人科領域講習
日本専門医機構 専門研修プログラム 「脳性麻痺発症児の CTG からみた医療安全」	13:00～14:00	専門医共通講習 (医療安全)
日本専門医機構 専門研修プログラム 「産婦人科と保険診療」	14:00～15:00	専門医共通講習 (医療法制)



座長・発表者の皆様へ

座長の皆様へ

担当セッションの開始 10 分前に、会場内前方の「次座長席」にご着席ください。

担当セッションの進行は、時間内に終了するよう、円滑な運営にご協力をお願いいたします。

発表者の皆様へ

1. 口演発表データの受付・試写について

ご発表の 30 分前までに、PC 受付にてデータ登録と試写をお済ませください。

PC 発表について

1. 発表方法に関しまして

(1) 発表形式は PC 発表です。

スライドやビデオは使用できませんので、ご注意ください。

(2) 会場へは、1. USB メモリ、2. CD-R (RW 不可)、3. パソコン本体、以上 1~3 いずれかの形で発表データをお持ち込みください。

(3) 講演開始 30 分前迄に PC 受付にて発表データの試写と受付を済ませてください。

PC 持ち込みの方も、30 分前迄に PC 受付へお越しください。

(4) PowerPoint の「発表者ツール」機能は使用できません。

(5) PC 受付のパソコンは台数が限られております。

受付パソコンを独占しての長時間データ修正はご遠慮ください。

学会場ではレイアウト修正のみとし、データ修正等は事前に済ませてから学会場へお越しください。

2. USB メモリ、または CD-R (RW 不可) をお持ち込みの方への注意事項

(1) ソフトは、以下のものをご使用ください。

Windows 版 PowerPoint 2007/2010/2013/2016

※Macintosh をご使用の方は、PC をお持ち込みください。

※iPad 等タブレット PC は使用できません。

※動画ファイルをご使用の方は、PC をお持ち込みください。

(2) フォントは OS 標準のもののみご使用ください。

(3) 会場スピーカーに音声は流せません。

(4) 画面の解像度は、XGA (1024×768) をお願いいたします。

(5) CD-R (RW 不可) への書き込みは、ISO 9660 方式をお使いください。

※バケット方式ですと、会場 PC で読み込めない恐れがあります。

3. ノート PC をお持ち込みの方への注意事項

(1) バックアップとして、必ずメディアもお持ち込みください。

(2) 会場スピーカーに音声は流せません。

(3) 画面の解像度は、XGA (1024×768) をお願いいたします。

(4) PC 受付の液晶モニターに接続し、映像の出力チェックを行ってください。

※PC の機種や OS によって、出力設定方法が異なります。

(5) プロジェクターとの接続ケーブル端子は、Dsub15 ピンです。

PC によっては専用のコネクタが必要になりますので、必ずお持ち込みください。

※特に VAIO、MacBook 等小型 PC は、別途付属コネクタが必要な場合がありますので、く

れぐれもご注意ください。

(6) スクリーンセーバー、省電力設定は事前に解除ください。

(7) コンセント用電源アダプタを必ずお持ち込みください。

※内蔵バッテリー駆動ですと、ご発表中に映像が切れる恐れがあります。

10月21日(土)

<第1会場 メインルーム ABCD>

開会式 8:50~9:00

第44回日本産婦人科医会学術集会 会長 落合 和彦

公益社団法人日本産婦人科医会 会長 木下 勝之

公益社団法人日本産科婦人科学会 理事長 藤井 知行

日本産婦人科医会勤務医委員会企画シンポジウム:

若手医師が望むこと 9:00~10:40

座長: 木戸 道子 (日本赤十字社医療センター 第二産婦人科 部長)

川鱈 市郎 (松波総合病院周産期医療対策室 室長)

分娩取扱い病院における就労環境の変遷~医会の年次アンケート調査から

日本医科大学多摩永山病院 准教授 関口 敦子

女性医師のさらなる活躍のために、今できること

日本赤十字社医療センター 第二産婦人科 部長 木戸 道子

全国若手医師が望むことー勤務医懇話会の総括

聖マリアンナ医科大学産婦人科学 講師 水主川 純

日本産科婦人科学会産婦人科未来委員会若手委員の取り組み

日本産科婦人科学会産婦人科未来委員会 若手委員長

大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部 助教 中川 慧

会長講演 10:40~11:10

座長: 落合 和彦 (第44回日本産婦人科医会学術集会 会長)

子供と家族の明るい未来形成のためのアプローチー子供の脳の発育と母子関係ー

公益社団法人日本産婦人科医会 会長 木下 勝之

特別講演 11:10~12:00

座長: 古川 雄一 (静岡県産婦人科医会 会長/関東ブロック産婦人科医会 副会長)

日本を救う産婦人科医会の役割

総務大臣・女性活躍担当大臣・内閣府特命担当大臣・衆議院議員 野田 聖子

教育講演 1 12:00～13:00

座長：青木 雅弘（茨城県産婦人科医会 会長）

臍帯血の神秘

日本赤十字社血液事業本部 高梨美乃子

共催：株式会社ステムセル研究所

日本専門医機構 専門研修プログラム P 13:00～14:00

座長：平田 善康（埼玉産婦人科医会 副医会長）

HPV を標的とした子宮頸癌の予防と治療～新しい流れと将来展望

日本大学医学部産婦人科学系産婦人科学分野 主任教授 川名 敬

共催：森下仁丹株式会社

日本専門医機構 専門研修プログラム P 14:00～15:00

座長：中野眞佐男（日本産婦人科医会神奈川県支部 支部長）

先天異常と生命倫理

横浜市立大学産婦人科 講師 倉澤健太郎

共催：シースター株式会社

<第2会場 セミナールーム AB>

地域代表全国会議 13:00～17:00

<展示会場 セミナールーム CD>

おぎゃー献金チャリティイベント 15:15～16:15

<総懇親会会場 ホテルニューオータニ ザ・メイン 宴会場階「鶴の間」>

総懇親会 18:00～21:00

10月22日(日)

<第1会場 メインルーム ABCD>

モーニングセミナー 8:00~8:50

座長：安達 知子（母子愛育会総合母子保健センター 愛育病院 副院長）

子宮腺筋症にまつわる最新の知見

東京大学医学部附属病院女性外科 講師 平田 哲也

共催：持田製薬株式会社

教育講演 2 P 9:00~10:00

座長：水谷 敏郎（千葉県産科婦人科医学会 医会長）

地域保健・医療の立場からみた産後ケア・子育て支援センターのあり方について

国立保健医療科学院 名誉院長 林 謙治

特別講演 10:00~11:00

座長：中林 正雄（東京産婦人科医会 監事）

世界の中の日本

公益財団法人国家基本問題研究所 理事長 櫻井よしこ

招聘講演 P 11:00~12:00

座長：木下 勝之（日本産婦人科医会 会長）

ACOG Activities and Social Medicine: Expanding the Role of the OB/Gyn

Past President, ACOG Mark S. DeFrancesco

教育講演 3 12:00~13:00

座長：木村 薫（長野県産婦人科医会 会長）

3D/4D 超音波の使い方のコツと一般産婦人科臨床での活用

埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター 馬場 一憲

共催：GE ヘルスケア・ジャパン株式会社

ワークショップ：近未来の産婦人科医療を展望する 13：00～15：00

座長：長島 勇（群馬県産婦人科医会 会長）

海野 信也（北里大学病院 病院長）

【基調講演】地域産婦人科医療提供体制確保のために

北里大学病院 病院長 海野 信也

周産期医療連携の新しい形

医療法人社団 窪谷産婦人科 理事長 窪谷 潔

近未来の産婦人科医療を展望する 生殖医療—激動の予感

HORAC グランフロント大阪クリニック 院長 森本 義晴

産婦人科医の新たなミッション～女性の活躍を支える～

女性クリニックWe! TOYAMA 院長 種部 恭子

どこまで可能か？クリニックの日帰り内視鏡下手術

杉山産婦人科 丸の内 院長 栗林 靖

おぎゃー献金贈呈式 15：00～15：10

大会旗引継ぎ・閉会式 15：10～15：20

謝辞

第44回日本産婦人科医会学術集会 会長 落合 和彦

大会旗引継ぎ

和歌山県産婦人科医会 会長 根来 孝夫

閉会宣言

東京産婦人科医会 副会長 山田 正興

＜第2会場 セミナールーム AB＞

平成29年度コ・メディカル生涯研修会 8:45～11:00（受付8:20～）

「コ・メディカルが行うOC/LEP服薬指導」講習会

教育講演4 12:00～13:00

座長：北井 啓勝（東京産婦人科医会 副会長）

知っておきたいLEP最新事情～現代女性は月経が多すぎる?!～

女性クリニックWe! TOYAMA 院長 種部 恭子

共催：バイエル薬品株式会社

日本専門医機構 専門研修プログラム **P** 13:00～14:00

座長：森澤 孝行（山梨県産婦人科医会 会長）

脳性麻痺発症児のCTGからみた医療安全

順天堂大学医学部附属浦安病院 院長・産婦人科 教授 吉田 幸洋

日本専門医機構 専門研修プログラム **P** 14:00～15:00

座長：田中 光臣（栃木県産婦人科医会 会長）

産婦人科と保険診療

東京産婦人科医会 理事

社会医療法人社団順江会 江東病院婦人科 部長 宮崎亮一郎

総懇親会次第

日 時：平成 29 年 10 月 21 日（土）18：00～

場 所：ホテルニューオータニ ザ・メイン宴会場階「鶴の間」

進行：松本 和紀

落合 由佳

18：00～

■開 会

第 44 回日本産婦人科医会学術集会 会長

落合 和彦

■挨 拶

公益社団法人日本産婦人科医会 会長

木下 勝之

■祝 辞

公益社団法人日本医師会 会長

横倉 義武

公益社団法人東京都医師会 会長

尾崎 治夫

参議院議員

自見はな子

■オペラ歌手による演奏

ソプラノ

幸田 浩子

ピアノ

藤満 健

18：45～

■乾 杯

公益社団法人日本産科婦人科学会 理事長

藤井 知行

■イリュージョンショー

Marie

■次期大会 会長挨拶

和歌山県産婦人科医会 会長

根来 孝夫

■閉 会

大会運営委員会 委員長

中林 正雄

平成 29 年度コ・メディカル生涯研修会

日 時：平成 29 年 10 月 22 日（日）受付 8：20～

場 所：紀尾井カンファレンス 第 2 会場「セミナールーム AB」

「コ・メディカルが行う OC/LEP 服薬指導」講習会 プログラム

8：20 ■受付開始

8：45 ■講習会全体説明

日本産婦人科医会幹事 水本 賀文

8：50 ■開会の辞

日本産婦人科医会常務理事 前田津紀夫

8：55 ■副会長挨拶

日本産婦人科医会副会長 岡井 崇

9：00 ■意識調査（OC/LEP に関する認識について把握）

9：10 ■講 演：安全な OC/LEP 服用：継続率を上げる服薬指導の実際

日本産婦人科医会常務理事 種部 恭子

9：40 ■グループワーク

10：20 ■グループ発表&課題解説

11：00 ■閉会の辞

日本産婦人科医会常務理事 前田津紀夫

11：05 ■集合写真撮影&解散
